

第8回 LCV「諏訪圏情報BOX」

- **放送日** 令和7年10月7日(火)、10月14日(火)
- **テーマ** 「諏訪湖環境研究センター常設展示のご案内」
- **出演者** 諏訪湖環境研究センター 総務部 小松 太一
- **聞き手とのやり取り(概要)**

(Q1) 諏訪湖環境研究センターは昨年4月の開所から1年半が経ちましたが、改めてセンターについて教えていただけますか？

(A1) はい。センターは、諏訪湖を中心に県内の川や湖の水質と生態系を一体的に調査研究するため、岡谷市の諏訪湖畔にある県の男女共同参画センター「あいとぴあ」の建物を全面改修し、令和6年4月に開所しました。

(Q2) 岡谷市にある水環境に特化した県の研究機関でしたね。では、この1年のセンターの取組など教えていただけますか？

(A2) はい。センターでは諏訪湖の水や底の泥、水草や魚など生き物の調査、マイクロプラスチックに関する研究などを行ってきています。小池さんは「メガネサナエ」というトンボをご存じですか？

(Q3) さあ、聞いたことありません。どんなトンボなんですか？

(A3) 見た目はオニヤンマに似ていて、全国でも諏訪湖のほか、琵琶湖と愛知県の一部でしか確認されていない、とても珍しいトンボで、国や長野県のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されています。このメガネサナエの調査も実施しています。また、様々な調査研究を効率的に進めるため、今年4月に調査船「かんけん1号」を導入しました。その他、水環境に関する研究をされている県内外の研究者との連携のため「諏訪湖研究連絡会」を開催したり、情報発信を強化するため、専用ウェブサイトも開設しました。

(Q4) なるほど、諏訪湖の水環境保全に向け様々な調査研究をされているんですね。調査研究以外の取組として、専用ウェブサイトのお話がありましたが、そのウェブサイトではどのような情報が掲載されているのですか？

(A5) センター専用ウェブサイトでは、センターの調査研究の成果もちろんですが、県民の皆さんに水環境を学んでいただくために、研究員によるコラムや水環境の様々な現象を紹介する「水環境を学ぼう」というコンテンツ

があります。現在、コラムには「アオコ」や諏訪湖の生息する魚や先程のメガネサナエについて掲載しています。その他に、これまでに長野県で実施してきた水質調査やプランクトン調査の結果をダウンロードできる「データベース」があります。

(Q4) センターのウェブサイトを見れば、諏訪湖の水環境に詳しくなれそうですね。ぜひ多くの皆さんに見てもらいたいですね。

(A4) はい。研究成果やコラムなどの各コンテンツ内容は、順次追加していきます。「諏訪湖環境研究センター」と検索していただき、ぜひご覧ください。
(URL : <https://www.lserc.pref.nagano.lg.jp/>)

(Q5) ところで、センターには展示スペースがあったと思いますが、見学状況はどうでしたか？

(A5) 昨年から今年にかけて、小学生からシニアの皆さんまで、800名を超える幅広い世代の皆さんに見学いただきました。センターの1階のエントランスホールには、諏訪湖のなりたちや特徴、諏訪湖で起きた水環境問題について、小学校高学年の皆さまにもわかりやすく学べるパネルなどを設置しています。ホワイエと呼ばれる展示コーナーには、専用タブレットを用いた体験型学習や諏訪湖の歴史や現在の取り組みなどを学べる映像展示を用意しています。

(Q6) エントランスホールとホワイエの展示はいつでも見学できるのですか？

(A6) エントランスホールは、センターの開庁日の月曜から金曜日の午前9時から午後4時まで、どなたでもご覧いただけます。ホワイエの見学については事前予約制になっています。先ほどご紹介しました、ウェブサイトの中の「予約フォーム」から「ながの電子申請サービス」による事前予約ができます。

今年度は、小学校や中学校の「総合的な学習の時間」でセンターをご活用いただくことも増えています。水環境に関する学びを支援することもセンターの役割ですので、そうした利用も是非お願いいたします。

ご不明な点があれば、電話 0266-78-0151 にお気軽にご連絡ください。